



JD LI | METAL



弥生時代に中国大陸、朝鮮半島より九州へ、剣・鉾・鏡などとして伝わった金工品。

その後、祭器としての銅鐸や銅鏡などを中心に、日本独自の発展を遂げました。仏教伝来の飛鳥時代にもなると、金属工芸品の製作も非常に盛んになりました。多種多様な加工方法と着色技術、自然素材には無い耐久度ももち、幅広い用途で活用できます。



